

## じゅんかい君 北コース（右回り） クロスセクター効果 算出結果

今回のクロスセクター効果の算出は、「公共交通への支出に伴うクロスセクター効果の簡易算出ツール（令和3年3月版）」（北陸信越運輸局）を用いて行っており、主に現在のバス利用をタクシーで代替した際の費用との比較検証となっています。

### ①当該路線の利用者数と運行費用

対象路線を利用している人を送迎バスによって送迎する場合の費用を算出します。

#### ■利用者数

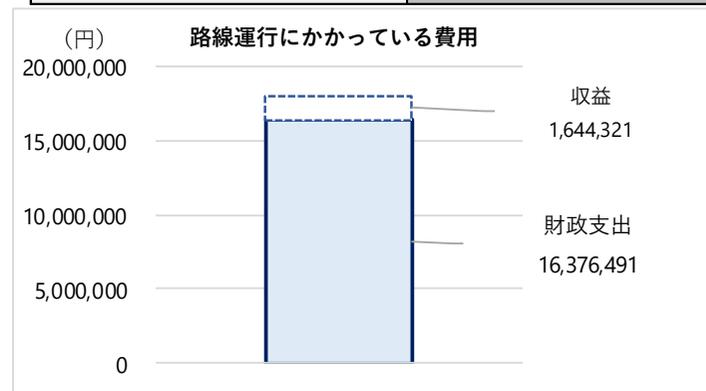
	平日	土休日
通勤	7,685	4,038
通学	1,631	208
スクール	0	0
通院	2,415	1,015
買い物	10,320	11,537
観光	0	0
他 <small>飲食・娯楽、習い事・趣味 等</small>	9,317	6,276
合計	31,369	23,073
年間利用者数	54,442	

令和5年度実施の乗降調査より、じゅんかい君（北コース・右回り）の利用目的の割合を年間利用者に乗じることで、利用目的別の年間利用者数を推計

#### ■運行費用

※経費から収益を差し引いた”赤字額”

コミュニティバスの運行費用	18,020,812	円
民間バスへの補助金額		
収益	1,644,321	円
<b>財政支出</b>	<b>16,376,491</b>	<b>円</b>



じゅんかい君全コースの年間走行キロのうち、当該コースの年間走行キロの割合を算出し、全体費用にその割合を乗じて費用・収益を推計

## ②当該路線がなくなった場合の代替費用

当該路線がなくなった場合、利用者の移動を確保するために以下のような手段があります。

貴自治体で現実的に取り得るもので、最も費用の安い手段に「○」をつけてください。

※「通勤」移動については、行政で代替費用を検討するシナリオが複雑となるため本調査では算出しないものとします。

色のセルをプルダウンから選択して入力

↓ 選択する代替手段に「○」

分野	代替手段	年間費用	代替手段
通学	行政が通学用貸切バス（無料）を運行	10,388,000 円/年	リストから選択
	高校等通学のためのタクシー券配布	2,496,486 円/年	○
スクール	行政がスクール貸切バス（無料）を運行	円/年	リストから選択
	小中学校通学のためのタクシー券配布	円/年	リストから選択
医療	行政が病院送迎貸切バス（無料）を運行	15,194,520 円/年	リストから選択
	通院のためのタクシー券配布	4,042,030 円/年	○
	往診のための費用	29,761,000 円/年	リストから選択
商業	行政が買い物送迎貸切バス（無料）を運行	51,260,600 円/年	リストから選択
	買い物のためのタクシー券配布	39,380,483 円/年	○
	移動販売の実施	3,356,080 円/年	リストから選択
※移動販売は費用が安いです、販売に独自のノウハウが必要であり、実施上の課題もあるため、今回は基本的に代替手段としないものとします。			
観光	行政が観光シャトルバス（無料）を運行	0 円/年	リストから選択
	観光のためのタクシー券配布	円/年	リストから選択
その他	行政が施設送迎バス（無料）を運行	81,643,200 円/年	リストから選択
	その他利用のためのタクシー券配布	22,851,675 円/年	○

年間費用
2,496,486 円/年

年間費用
0 円/年

年間費用
4,042,030 円/年

年間費用
39,380,483 円/年

年間費用
0 円/年

年間費用
22,851,675 円/年

代替費用合計	68,770,674 円/年
--------	----------------

クロスセクター効果 = [代替費用の合計] - [公共交通の運行費用]

代替費用の合計	-	財政支出
68,770,674 円/年		16,376,491 円/年

=

クロスセクター効果
<b>52,394,183</b> 円/年

